

下野新聞新書12 「多文化共生をどう捉えるか」

新書判/並製本/184頁/カバー装/本体1000円＋税/ISBN978-4-88286-710-4/下野新聞社

目次

1. 多文化共生を学際的に考える

A. 言語・文学

- 多文化共生にモノリンガリズムは似合わない……………吉田一彦
多文化社会を先取りする文学……………丁貴連
多文化共生と英語……………湯澤伸夫
多文化共生における言語の重要性……………佐々木隆
【コラム】外国語臨地演習……………佐々木一隆・松金公正・出羽尚
【コラム】International Communication Seminar ……ライマン・アンドリュウ

B. 心理・教育・情報・文化

- 社会的共生と共感—共感の反社会性について考える……………中村真
「共に生きる」ことのできる社会づくりに向けた教育—持続可能な開発のための教育
(ESD)と多文化共生……………湯本浩之
インターネット時代の多文化共生……………倪永茂
日本で考える多文化共生—多文化の現実、共生の理想……………松井貴子
【コラム】外国人生徒入試……………田巻松雄
【コラム】Rationality and Multicultural Public Spheres ……モリソン・バーバラ

C. 経済・環境・開発・政治

- 経済問題としての多文化共生……………磯谷玲
環境リスクと多文化共生……………高橋若菜
グローバル市民社会の意義—多文化共生社会の再構築……………重田康博
紛争の種、感受性の種……………松村史典
多文化共生はなぜ実現が困難なのか—主権国家体制の限界について…清水奈名子
【コラム】観光まちづくりにおける外部者の役割と多文化共生—栗山ツアーの事例か
ら……………飯塚明子
【コラム】日光プロジェクト……………重田康博

2. 多文化共生を国際的に考える

A. アメリカ～ヨーロッパ

奴隷を作り出すこの世界の仕組み

—映画『ブレードランナー』から「共生」を考える……………田口卓臣

米国における多文化主義と少数派—19世紀末のアフリカ系アメリカ人作家……………

……………米山正文

真に求められるグローバル人材とは—アメリカの多文化主義と日本の多文化共生を
踏まえて……………戚傑

賃命ロシア人とモダニズム……………大野斉子

教育における多文化共生—ドイツにおける母語教育の展開を題材として……………

……………立花有希

現代美術が問い直す枠の内と外—ターナー賞受賞者ルバイナ・ヒミッドの制作から

……………出羽尚

【コラム】栃木とイギリス……………出羽

尚

【コラム】Latin American Ethnic Diversity: A Squandered Historical Opportunity ……

……………スエヨシ・アナ

B. アフリカ～中東～アジア～環太平洋

アフリカにおける統治と多文化共生—タンザニアはどのように安定を保ってきたか…

……………阪本公美子

虹の国の歩みから考える共生の社会……………藤井広重

ダマスカスで……………松尾昌樹

一杯の紅茶から世界とのつながりを見る……………栗原俊

輔

ハワイ島在ミクロネシア自由連合移民の合同卒業記念日……………柄木田康之

台湾における多文化共生と帝国日本……………松金公正

C. 日本

小笠原における多文化共生……………古村学

災害弱者と多文化共生……………飯塚明子

多文化社会に向き合うための自文化理解—日本語をみつめなおす……………高山道代

教科書の文章とパラフレーズ—日常語・抽象語・背景知識・主体的な学び…

……………鎌田美千子

多文化共生の理念と現実……………マリー ケオマノータ

ム

外国人生徒への学びの場と進路の保障—多文化共生を担う次世代支援……………

……………田巻松雄